



**Sibelius**  
A part of *Avid*

# **Sibelius Sounds**

# **Rock & Pop Collection**

ユーザーガイド

# イントロダクション

---

ロックやポップ、ジャズやラテンのジャンルのコンポーザーおよびアレンジャーに、Sibelius の Rock and Pop Collection は作品に命をふきこむようなサウンドライブラリを提供します。

個々の楽器の特性やニュアンスを維持しながら、アコースティックとエレクトリックそれぞれのギターとベース、多数の名高いキーボード楽器、18 以上ものドラムキットのサンプルが細心の注意を払って収録されています。また、シンセリードやパッド、表現豊かなストリングセクション、完全なホーンセクション、男性と女性の歌声、さまざまなワールドパーカッション、そしてジャズのトラックにはもってこいのビブラフォンなど、ハイクオリティなあらゆるサウンドを自由にお使いいただけます。

ヘビーロック、ポップ、バラード、ファンク、ビッグバンド、モータウン、エレクトロニカ、サルサ、またはハウスやガレージなど、どんなジャンルであろうともこの Rock and Pop Collection は、Sibelius の直感的な再生機能とシームレスに統合されたサウンドライブラリにサポートされながらあらゆるジャンルの音楽に対応可能です。

# Windows でのインストール

---

## 必要システム条件

2 GB のハードディスクの空き容量（Sibelius 5 の必要容量に加えて）、Windows XP Service Pack 2 または Windows Vista (32-bit)、DVD ドライブ、Sibelius 5 またはそれ以降のバージョンが必要です。

## インストールの前に

Sibelius Rock and Pop Collection をインストールする前に、Sibelius 5 の DVD-ROM から Sibelius Sounds Essentials がインストールされている必要があります。

また、Sibelius 5.1 またはそれ以降のバージョンを使用していることもご確認ください（バージョンナンバーのチェックは [ヘルプ] > [バージョン情報] を参照ください）。[ヘルプ] > [アップデートを確認する] から最新バージョンをダウンロードできます。

## Sibelius Sounds Rock and Pop Collection のインストール

- Sibelius が起動している場合は終了します。
- Rock and Pop Collection DVD をラベル面を上にして DVD ドライブに挿入します。数秒後にインストールプログラムが自動的にスタートします。
- **[Next]** をクリックします。ライセンス使用許諾書をお読みいただき、**[I Accept]** をクリックします。
- サンプルのインストールにはしばらく時間がかかるとの注意が促されます。**[Next]** をクリックします。
- インストール場所のディレクトリを選択します。特に指定する必要がなければ、デフォルトで選択されている場所のまま **[Next]** をクリックします。
- ショートカット用のスタートメニューのフォルダを選択します。特に指定する必要がなければ、デフォルトで選択されているフォルダのまま **[Next]** をクリックします。
- インストールの進行を示すバーが表示され、ハードドライブへのインストールが始まります。インストーラーはこの時 **[Time remaining: 0 minutes 0 seconds]** と表示しますが、容量の大きなサンプルバンクのハードディスクへのコピーは実際には数分かかりますので、しばらくお待ちください。
- その後しばらくしてインストールが無事終了したことを告げる表示が出ます。**[Finish]** をクリックします。
- **はじめに**の章をお読みください。

# Macでのインストール

---

## 必要システム条件

2 GB のハードディスクの空き容量（Sibelius 5 の必要容量に加えて）、Mac OS 10.4 またはそれ以降、DVD ドライブ、Sibelius 5 またはそれ以降のバージョンが必要です。

## インストールの前に

Sibelius Rock and Pop Collection をインストールする前に、Sibelius 5 の DVD-ROM から Sibelius Sounds Essentials がインストールされている必要があります。

また、Sibelius 5.1 またはそれ以上のバージョンを使用していることもご確認ください（バージョンナンバーのチェックは **[Sibelius 5] > [バージョン情報]** を参照ください）。**[ヘルプ] > [アップデートを確認する]** から最新バージョンをダウンロードできます。

## Sibelius Rock and Pop Collection のインストール

- Sibelius が起動している場合は終了します。
- Rock and Pop Collection DVD をラベル面を上にして DVD ドライブに挿入します。デスクトップにアイコンが表示されるので、それをダブルクリックします。
- 表示されたウィンドウ内の Rock and Pop Installer をダブルクリックします。
- 認証を求められますので、パスワードを入力し **[OK]** をクリックします。
- **ライセンス使用許諾書** をお読みいただき、**[Continue]** そして **[Agree]** をクリックします。
- ソフトウェアのインストール先フォルダを選択するよう求められますが、特に指定する必要がなければ、デフォルトで選択されている場所のまま **[Next]** をクリックします。
- サンプルのインストールにはしばらく時間がかかるとの注意が促されます。**[Install]** をクリックします。
- インストールの進行を示すバーが表示され、ハードドライブへのインストールが始まります。インストーラーはこの時 **[Items remaining to be installed: 0]** と表示しますが、この状態がしばらく続きます。容量の大きなサンプルバンクのハードディスクへのコピーは実際には数分かかりますので、しばらくお待ちください。
- その後しばらくしてインストールが無事終了したことを告げる表示が出ます。**[Quit]** をクリックします。
- **はじめに** の章をお読みください。

# はじめに

---

Sibelius Rock and Pop Collection の使用はとても簡単です。この素晴らしいサウンドによる再生を実現するためには：

Sibelius Rock and Pop Collection を使用する再生設定を作成します

- ・必要に応じて Sibelius のミキサーウィンドウにてサウンドに微調整を加えます
- ・演奏テクニックなどに関する適切な指示がスコアにほどこされていることを確認します
- ・再生ボタンを押してあなたの素晴らしい作品を聴いてみましょう！

## 再生設定の作成

Sibelius で Sibelius Rock and Pop Collection を使用するには、適切なサウンドセットを使用していることをご確認ください。

- ・[再生]>[再生デバイス]を選択します。
- ・左下にある設定メニューから **[Sibelius Essentials (16 sounds)]**、あるいは処理能力の早いコンピュータをお持ちで 16 以上のサウンドを再生可能であれば、**[Sibelius Essentials (32 sounds)]** を選択します。
- ・**[新規]** をクリックして新しい設定の名前をタイプします（例えば **Sibelius Rock and Pop (16 sounds)** または **Sibelius Rock and Pop (32 sounds)** など）。
- ・左側の **[使用可能なデバイス]** のリストから **[KontaktPlayer2]** を選択し、**[アクティベート]** をクリックします。
- ・次に右側の **[アクティブなデバイス]** のリストに表示されている KontaktPlayer2 それぞれのサウンドセットを **Sibelius Essentials** から **Sibelius Rock and Pop** に変更します。
- ・**[保存]** をクリックして設定を保存し、**[閉じる]** をクリックします。

再生デバイスについての詳細は、**[ヘルプ]>[Sibelius リファレンス]** から **4.11 再生デバイス** を参照してください。

## 標準設定のサウンドの変更

Rock and Pop Collection は、あらゆるスコアの再生に必要なサウンドを十分とりそろえています。たとえば標準設定のストラトキャスターよりもテレキャスターのサウンドのほうが適しているといった場合には、Sibelius のミキサーウィンドウを開き、変更したいサウンドのフェーダーを選択し、サウンド ID のメニューから必要なサウンドを選ぶことができます。

標準設定のサウンドの変更についての詳細は、**楽器の選択**の章をご覧ください。

ミキサーについての詳細は、**[ヘルプ]>[Sibelius リファレンス]** から **4.2 ミキサー** を参照してください。

## スコアをマークアップする

Sibelius の革新的なシステム SoundWorld によって、Sibelius Rock and Pop Collection に含まれる特殊な演奏テクニックによるサウンドをすぐによび出すことができます。たとえば "wah" というテキストを入力してワウワウのエフェクトを得たり、ヘアピンを追加して音量の変化を表現したり、"pizz" や "arco" を入力して弦楽器の譜表上でふたつの演奏法を切り替えることができます。Sibelius は自動的にこれらの指示を適切に解釈し、最もふさわしいサウンドを選択しながら Rock and Pop Collection のすぐれた性能を最大限に引き出します。

マークの入力方法と楽器とマークの関係についての詳細は**スコアをマークアップする**の章をご覧ください。

## あとは再生をクリック

いよいよ楽譜の作成が終了し聞く準備がととのったら、再生ウィンドウにある再生ボタンをクリック、または**スペースキー**を押してみましよう。Kontakt Player 2 に必要なサウンドがロードされ、かつてないリアルさと演奏表現によるスコアの再生をお楽しみいただけるでしょう！

# 楽器の選択

---

Sibelius Rock and Pop Collection は非常にバラエティに富んだサウンドライブラリです。たとえばギターでは 22 もの異なるエレクトリックギターサウンドとエフェクト、また、ベースギターでは 17 のサウンドを使用することができます。

Sibelius はスコア上の個々の譜表それぞれにふさわしいサウンドを常に選択してくれますが、ときには自分で選択してこのサウンドライブラリの豊富さを最大限に利用してみたいと思われるでしょう。以下にそのためのヒントをいくつかあげてみます。

## 使用する楽器の選択

Sibelius は通常、スコア上にある個々の楽器に最も適したサウンドを決定します。

Kontakt Player 2 は、再生中にスロット内で異なるサウンドの入れ替えができません（交換するとすでにロードされている楽器に代わる新規の楽器としてそのスロットにロードされることとなります）。そのため再生に必要なすべてのサウンドは、再生設定で設定された使用可能なスロット数以内でなければなりません。Kontakt Player 2 のインスタンスを 2 つアクティベートすると、合計で 32 個のスロットを持つこととなりますが、それでも十分でない場合にはもうひとつインスタンスをアクティベートしてさらに 16 個のスロットを加えることも可能です。詳しくは [\[ヘルプ\]](#) > [\[Sibelius リファレンス\]](#) から **4.11 再生デバイス** を参照ください。

## 複数楽器による同じスロットの使用

シーケンサーでサンプルを使用する場合、たとえばホーンセクションの第 1 アルトサクスをトラック 1 に、第 2 アルトサクスをトラック 2 にというように、同一楽器でも別々のトラックに割り当てるとします。この場合ふたつのシングルトラックがサクス用として作成されますが、片方のトラックのボリュームやパンニングを変更しても、もう一方に影響を及ぼすことはありません。

Sibelius においても同じことが言えます。デフォルトでは、Sibelius はスコア上の個々の譜表に対して Kontakt Player 2 の中でそれぞれ異なるスロットを割り当てます。もし空きスロットの数が十分になれば、まずはじめに同じ楽器が同じスロットを共有します。ときには類似した楽器さえも同じスロットを共有します（この場合は同じサウンドを使用することとなります）。

# スコアをマークアップする

---

Rock and Pop Collection に含まれるサウンドの多くは、このコレクションにのみ限られる楽器特有のスコア指示に対応します。

## 再生設定の作成

スコア指示を作成するには：

- ・ **[作成]** > **[テキストメニュー]** (たとえばテクニックなど) から、どれか譜表テキストスタイルを選択してください。
- ・ スコア上で必要な場所をクリックしてオブジェクトを作成します。
- ・ 適切なスコア指示を入力し、**Esc** キーを押します。

スコアでのテキスト作成に関する詳細は、**[ヘルプ]** > **[Sibelius リファレンス]** から **3.1 テキストの作成と編集** を参照ください。

## アーティキュレーションの作成

楽器の中には (たとえばドラム譜表など) 特殊なアーティキュレーションを音符に付随させて表現するものもあります。これらのアーティキュレーションはテンキーの4番目のレイアウトを使う通常の方法で作成します。

## シンボルの作成

ブラスサウンドなどの楽器の中には、スコア上のシンボルに対応して表現するものもあります。これらのシンボルは **[作成]** > **[シンボル]** ダイアログ (ショートカットは Z) から通常の方法で作成します。

シンボルの作成に関する詳細は、**[ヘルプ]** > **[Sibelius リファレンス]** から **2.25 アーティキュレーション** を参照ください。

## 特別なエフェクトのための MIDI コントローラー

Rock and Pops Collection に含まれる個々の楽器は5つまでのエフェクトに対応しています。たとえば曲のクライマックスでリズムギターのフェイザーのレベルを少し上げたい場合などの場合には、スコア上の任意の箇所に MIDI メッセージテキストを入力することでエフェクトの調節ができます。

楽器にエフェクトを追加する場合には、**使用可能なサウンド**の章を参照して個々の楽器がサポートするエフェクトのリストをまず確認してください。MIDI コントローラー 23 はリバーブのための一般的なコントローラー (ライブラリに含まれる楽器すべてに対応) ですが、他のコントローラーは楽器ごとに異なります。しかし、似た楽器どうしは通常同じエフェクトが使用可能となっています。



調整したいエフェクトのコントロールナンバーが分かったら：

- ・エフェクトの変更を開始したい音符またはコードを選択します。
- ・[作成]>[テキスト]>[テクニック] (ショートカットは **Ctrl+T** または **Command-T**) を選択します。他の譜表テキストスタイルに変更も可能です。
- ・～C xx,yyy の値を入力します。調節するコントロールナンバー (20-24) を xx に、エフェクトのレベル値 (0-127) を yyy として入力します。

たとえば、Pulse Lead のサウンドのディレイのレベルを最大値の 80% 以下に設定するには ～C22,100 と入力し、あとで完全にディレイを削除するには ～C22,0 と入力します。

テキストオブジェクトの先頭には波形ダッシュ (～) を付けますが、Sibelius はこれらのオブジェクトを自動的に非表示にするので、スコアを印刷しても表示されることはありません。すでにスコアに追加されているエフェクトを確認または変更するためには、画面上での非表示オブジェクトを表示させてください。[表示]>[非表示オブジェクト] (ショートカットは **Ctrl+Alt+H** または **Option-Command-H**) を選択してすべての非表示オブジェクトの表示 / 非表示の切り替えが可能です。

MIDI メッセージに関する詳細は、[ヘルプ]>[Sibelius リファレンス] から **4.13 MIDI メッセージ** を参照ください。

## 他の有用なコントローラー

楽器のボリュームまたはパンの調整についても、Rock and Pop Collection は General MIDI 規格におけるこれらのパラメータに対応しているので、スコアのどの楽器においてもコントローラー 7 でボリューム、コントローラー 10 でパンを調整することが可能です。

他のコントローラーと同様、たとえばボリュームは～C7,64、パンは～C10,127 のように MIDI メッセージを入力する方法で情報を加えます。また、アルファベットの C の文字の代わりに B を使用してピッチベンドの変更も可能です。たとえば音を半音シャープさせるには、～B0,95 と入力します。最初の数字は何の影響も与えませんが、2 番目の数字 0 (全音フラット) から 127 (全音シャープ) の範囲で調節し、64 がナチュラルの状態になります。

# ギターとベース

---

ここでは Rock and Pop Collection に含まれるギターとベースの効果的な使用法について説明します。

ギターの記譜についての詳細は、[ヘルプ]>[Sibelius リファレンス]から **2.13 ギターの記譜とタブ**を参照ください。

## エレクトリックギターサウンド用のテキストおよびアーティキュレーション

エレクトリックギターのあらゆるサウンドの使用において、スコア上のギター譜表に次のテキスト指示を使用して演奏スタイル（サウンド）を変更できます：

- **Clean** - エフェクトのないクリーンギターサウンド
- **Palm Mute** - クリーンギターのサウンドで演奏者の手のひらで弦を押さえてミュートしたサウンド
- **Compress** - ボリュームコンプレッションのかかったクリーンギターサウンド
- **Chorus** - コーラスのかかったサウンド（CC24 で調節可能）
- **Phaser** - フェイザーのかかったサウンド（CC24 で調節可能）
- **Flanger** - フランジャーのかかったサウンド（CC24 で調節可能）
- **Wah** - ワウワウのかかったサウンド
- **Fuzz** - ファズディストーションのかかったサウンド（CC24 で調節可能）
- **Tremolo** - トレモロのかかったサウンド（CC24 で調節可能）
- **Overdrive** - オーバードライブのかかったサウンド
- **Overdrive** と **Chorus** - オーバードライブとコーラス両方のかかったサウンド
- **Stadium** - ヘビーディストーションとリバーブのかかったサウンド
- **Distortion** - 適度なディストーションのかかったサウンド
- **Metal** - ヘビーメタルの音楽に適したディストーションのかかったサウンド
- **Heavy Distortion** - ヘビーディストーションのかかったサウンド
- **Distorsion** と **Chorus** - ディストーションとコーラス両方のかかったサウンド（CC24 で調節可能）
- **Distortion** と **Phaser** - ディストーションとフェイザー両方のかかったサウンド（CC24 で調節可能）
- **Distortion** と **Flanger** - ディストーションとフランジャー両方のかかったサウンド（CC24 で調節可能）
- **Distortion** と **Wah** - ディストーションとワウワウ両方のかかったサウンド
- **Distortion** と **Tremolo** - ディストーションとトレモロ両方のかかったサウンド（CC24 で調節可能）
- **Let Ring** - 譜表の上に入力し、その箇所から後の音をサステインさせます
- **non-L.V.** - 譜表の上に入力し、上記の Let Ring のエフェクトをキャンセルします

すべてのディストーションのエフェクトにおいて、次にあげるマークも使用することができます：

- ・ **クロス符頭** - 記譜された音符またはコードのデュレーションで左手で弦をミュートしたサウンド
- ・ **°** **アーティキュレーション** - 記譜された音符またはコードのデュレーションでハーモニクスのサウンド

ふたつ以上のエフェクトを同時に利用することはできません。たとえばコーラスからトレモロに切り替えると、かかっていたコーラスエフェクトはキャンセルされます。このルールにあてはまらない例外として、ディストーションまたはオーバードライブのいずれかと他のエフェクトひとつとを組み合わせる方法があります。たとえば、ディストーションがすでにかかっているギターの譜表にフランジャーの指示をのちに入力すると **Electric Guitar [Distortion / Flanger]** のサウンドになります。

フェクトを使用するものがあります。たとえばフェイザーを使用した場合、~C24,64 などの MIDI メッセージを追加してフェイザーの振幅を調節することができます。

### アコースティックギターサウンド用のテキスト

アコースティックギターのあらゆるサウンドの使用において、スコア上のギター譜表に次のテキスト指示を使用して演奏スタイルを変更できます：

- ・ **Clean** - エフェクトのないナチュラルアコースティックギターサウンド
- ・ **Palm Mute** - クリーンギターのサウンドで演奏者の手のひらで弦を押さえてミュートしたサウンド
- ・ **Pick** - ピック奏法でのクリーンギターサウンド
- ・ **Finger** - フィンガー奏法でのクリーンギターサウンド
- ・ **Chorus** - コーラスのかかったサウンド (CC24 で調節可能)
- ・ **Phaser** - フェイザーのかかったサウンド (CC24 で調節可能)
- ・ **Let Ring** - 譜表の上に入力し、その箇所から後の音をサステインさせます
- ・ **non-L.V.** - 譜表の上に入力し、上記の Let Ring のエフェクトをキャンセルします

ふたつ以上のエフェクトを同時に利用することはできません。たとえばコーラスからフランジャーに切り替えると、かかっていたコーラスエフェクトはキャンセルされます。

アコースティックギターのサウンドのいくつかには MIDI メッセージを使用して調節できるエフェクトを使用するものがあります。たとえばコーラスを使用した場合、~C24,64 などの MIDI メッセージを追加してコーラスの振幅を調節することができます。

## エレクトリックベースサウンド用のテキスト

エレクトリックベースのあらゆるサウンドの使用において、スコア上のベース譜表に次のテキスト指示を使用して演奏スタイルを変更できます：

- **Clean** - エフェクトのないクリーンベースサウンド
- **Finger** - フィンガー奏法でのクリーンベースサウンド
- **Pick** - ピック奏法でのクリーンベースサウンド
- **Chorus** - コーラスのかかったサウンド (CC24 で調節可能)
- **Phaser** - フェイザーのかかったサウンド (CC24 で調節可能)
- **Flanger** - フランジャーのかかったサウンド (CC24 で調節可能)
- **Tremolo** - トレモロのかかったサウンド (CC24 で調節可能)
- **Envelope Filter** または **Wah** - ワウワウまたはエンベロープフィルターのかけたサウンド
- **Distortion, Fuzz** または **Overdrive** - ディストーションのかかったサウンド (CC24 で調節可能)
- **Let Ring** - 譜表の上に入力し、その箇所から後の音をサステインさせます
- **non-L.V.** - 譜表の上に入力し、上記の Let Ring のエフェクトをキャンセルします

ふたつ以上のエフェクトを同時に利用することはできません。たとえばコーラスからエンベロープフィルターに切り替えると、かかっていたコーラスエフェクトはキャンセルされます。

エレクトリックベースのサウンドのいくつかには MIDI メッセージを使用して調節できるエフェクトを使用するものがあります。たとえばフランジャーを使用した場合、~C24,64 などの MIDI メッセージを追加してコーラスの振幅を調節することができます。

# キーボード

---

ここでは Rock and Pop Collection に含まれるキーボード楽器の効果的な使用方法について説明します。

## エレКТリックピアノ用のテキスト

エレクトリックピアノサウンドのみが次の2つのテキスト指示によるエフェクトに対応します：

- **Clean** - クリーンエレクトリックピアノのサウンド
- **Chorus** - コーラスのかかったエレクトリックピアノのサウンド

## シンセサイザーとクラビネット

Rock and Pop Collection に含まれるシンセサイザーのサウンド（プログラムナンバー 91-107 はシンセサイザー、77-80 はクラビネット；**使用可能なサウンドのリスト**を参照ください）は、MIDI メッセージを使用してコントロールすることができます：

- ~20,x はすべてのサウンドにわたりフィルターのカットオフをコントロールします
- ~21,x はすべてのサウンドにわたりフィルターのレゾナンスをコントロールします
- ~22,x はディレイに対応するサウンドをコントロールします
- ~24,x はコーラス、フランジャー、またはフェイザーに対応するサウンドをコントロールします

## Fender Rhodes Mk2、Wurlitzer A200

Fender Rhodes Mk2（プログラムナンバー 67-71）、Wurlitzer A200（プログラムナンバー 72-76）は次の MIDI メッセージに対応します：

- ~20,x はステレオスプレッドをコントロールします
- ~21,x はサチュレーションまたはフィルターのカットオフに対応するサウンドをコントロールします
- ~22,x はフィルターのレゾナンスに対応するサウンドをコントロールします
- ~24,x はコーラス、またはフェイザーに対応するサウンドをコントロールします

# ドラムとパーカッション

---

ここでは Rock and Pop Collection に含まれるピッチなし、ピッチ付きパーカッションの効果的な使用方法について説明します。

Rock and Pop Collection のサウンドを使用してドラムの記譜の作業を行うにあたり、[ヘルプ]> [Sibelius リファレンス] の **2.21 パーカッション** を読んで、主なドラムの記譜法について十分理解することが必要です。

## 楽器と譜表タイプ

ピッチなしパーカッション楽器では、譜表（パーカッションでは 1 線譜から 5 線譜までの譜表がありません）上の異なる位置に現れる様々な符頭と再生されるサウンドとの間に特別なマッピングが存在します。

[作成]> [楽器] からパーカッション楽器を作成すると、Sibelius はその楽器にふさわしいサウンドを Rock and Pop Collection からロードします。

最もふさわしいパーカッション楽器を使用していることを確かめたら、最も良い再生になるよう今度はスコアをマークアップします。

## ドラムキット用のテキスト

次の指示をスコアに入力してドラム譜表の演奏スタイルを変更できます：

- **Brushes - Drum Kit [Brushes]** のサウンド
- **Hot Rods - Drum Kit [Hot Rods]** のサウンド
- **Sticks** - はじめに選択した元のキット

## ドラムキット用のアーティキュレーション

Sibelius でハイハットのオープンサウンドを再生するには次のようにして音符の上に ° のアーティキュレーションを付けます：

- オープンにしたい音符を選択します
- テンキーが画面に表示されていない場合は、[ウィンドウ]> [テンキー]（ショートカットは **Ctrl+Alt+K** または **Option-Command-K**）を選択します
- テンキー 4 番目のレイアウトから °（ハーモニクス / オープン）のシンボルを選択またはキーボード上のテンキーの . を押すと、次の表示のようになります：



## ワールドパーカッション用のテキストとアーティキュレーション

下の例では、コンガおよびティンバレスでの異なるサウンドの切り替えに使用する符頭、テキストそしてアーティキュレーションを表示しています。

The image shows two musical staves. The top staff is for Congas and the bottom staff is for the Timbale Set. Both staves use a treble clef and a 2/4 time signature. The Congas staff has ten notes with various articulation symbols and text labels above them: Tumba (quarter note), Conga (quarter note), Quinto (quarter note), open tone (quarter note with 'o' below), mute tone (quarter note with 't' below), bass tone (quarter note with 'b' below), mute slap (quarter note with 's' below and 'x' above), open slap (quarter note with 'os' below and 'x' above), heel/tip (quarter note with '+' below), and slide (quarter note with 'slide' below). The Timbale Set staff has ten notes with various articulation symbols and text labels above them: high timbale (quarter note), low timbale (quarter note), rim shot (quarter note with 'r' below), muffled tone (quarter note with '+' below), cascara (quarter note with a triangle above), cha-cha bell (quarter note with a triangle above), open bell (quarter note with a circle above), closed bell (quarter note with '+' below), mambo bell (quarter note with 'x' above), and woodblock (quarter note with 'x' below).

## ビブラフォン

次の指示を入力してビブラフォン譜表での演奏スタイルを変更できます：

- **Motor On** - ビブラフォンの電気モーターをオンにします（しばしばジャズで使用されます）
- **Motor Off** - ビブラフォンの電気モーターをオフにします

MIDI コントローラー 23 を使用してビブラフォンのリバーブレベルを調節できます。譜表テキストオブジェクトとして ~C23,x のようなメッセージを入力してビブラフォン譜表に付けます。x はリバーブをかける量を表し、0 から 127 の範囲の数字で入力します。

## 他の楽器

---

ここでは Rock and Pop Collection に含まれるブラス、ストリングス、ボーカルのサウンドの効果的な使用法について説明します。

### ブラスのサウンド

次の指示をスコアに入力してトランペットを使用する譜表の演奏スタイルを変更できます：

- **Mute** - ハーマンミュートを付けたトランペットのサウンド
- **Open** - トランペットのオープンサウンド

ホーンセクションとしてのサウンドを使用する場合、音符またはコードにグリスダウンにふさわしい記譜を施すことで、リアルなショートグリスダウンのサウンドを得ることができます。[作成]> [シンボル]のテクニクの列から次に示すようなシンボルを選択します：



### ストリングスのサウンド

すべてのストリングスセクションのサウンドは次の指示によって演奏スタイルが変化します：

- **Arco** - アルコサウンド（弓で演奏されます）
- **Spicc.** - スピカートサウンド（短音でアクセントがつけられます）
- **Pizz.** - ピチカートサウンド（弦をはじいて演奏されます）

### シンガー

**The Lead Voice [Male]**、**Lead Voice [Female]** および **Scat Voice [Female]** のサウンドはすべて次の指示に対応します：

- **Normal** - "aah" の母音を使用したオープンサウンドで歌います
- **Scat** - 女性の短いスキットのモチーフまたは音を発声します



## 使用可能なサウンド

下に示す Rock and Pop Collection に含まれるすべての包括的なサウンド表を参照ください。表には個々の楽器の音域（C4 は中央の C）と対応するエフェクトのリストも表示しています。またすべての楽器では MIDI コントローラー 23 でリバーブに対応します。

No.	Patch	Range	CC20	CC21	CC22	CC24
001	Drum Kit [Drum Machine]	B1 - A#5	Bass	Mid	Treble	
002	Drum Kit [Drum Alternative]	B1 - A#5	Bass	Mid	Treble	
003	Drum Kit [Brushes]	B1 - A#5	Bass	Mid	Treble	
004	Drum Kit [Dance]	A#1 - F#6	Bass	Mid	Treble	
005	Drum Kit [Disco]	G1 - A#5	Bass	Mid	Treble	
006	Drum Kit [Electronica]	A1 - B5	Bass	Mid	Treble	
007	Drum Kit [Garage]	B1 - G#6	Bass	Mid	Treble	
008	Drum Kit [Pop]	G1 - D#6	Bass	Mid	Treble	
009	Drum Kit [Hip Hop]	B1 - E7	Bass	Mid	Treble	
010	Drum Kit [Hot Rods]	B1 - A#5	Bass	Mid	Treble	
011	Drum Kit [Industorial]	B1 - E7	Bass	Mid	Treble	
012	Drum Kit [Lo Fi]	C2 - B6	Bass	Mid	Treble	
013	Drum Kit [Metal]	B1 - A#5	Bass	Mid	Treble	
014	Drum Kit [Modern Rock]	B1 - A#5	Bass	Mid	Treble	
015	Drum Kit [Motown]	B1 - A#5	Bass	Mid	Treble	
016	Drum Kit [New Age]	B1 - A#5	Bass	Mid	Treble	
017	Drum Kit [Reggae]	B1 - A#5	Bass	Mid	Treble	
018	Drum Kit [Stadium Rock]	B1 - A#5	Bass	Mid	Treble	
019	Percussion [World]	C1 - B8	Bass	Mid	Treble	
020	Electric Bass [Precision]	B0 - E5	Bass	Mid	Treble	
021	Electric Bass [Precision / Slap]	B0 - E5	Bass	Mid	Treble	
022	Electric Bass [Precision / Palm Mute]	B0 - E5	Bass	Mid	Treble	
023	Electric Bass [Pick / Dark]	B0 - E4	Bass	Mid	Treble	
024	Electric Bass [Pick / Bright]	B0 - E4	Bass	Mid	Treble	
025	Electric Bass [Percussion / Chorus]	B0 - E5	Bass	Mid	Treble	Chorus
026	Electric Bass [Percussion / Phaser]	B0 - E5	Bass	Mid	Treble	Phaser

No.	Patch	Range	CC20	CC21	CC22	CC24
027	Electric Bass [Precision / Flanger]	B0 - E5	Bass	Mid	Treble	Flanger
028	Electric Bass [Precision / Tremolo]	B0 - E5	Bass	Mid	Treble	Tremolo
029	Electric Bass [Precision / Envelope Filter]	B0 - E5	Bass	Mid	Treble	
030	Electric Bass [Precision / Fuzz]	B0 - E5	Bass	Mid	Treble	Fuzz
031	Electric Bass [Jazz]	B0 - E5	Bass	Mid	Treble	
032	Electric Bass [Rickenbacker]	B0 - E5	Bass	Mid	Treble	
033	Electric Bass [Fletless]	B0 - E5	Bass	Mid	Treble	
034	Electric Bass [Fletless / Chorus]	B0 - E5	Bass	Mid	Treble	Chorus
035	Semi-Acoustic Bass	B0 - E4	Bass	Mid	Treble	
036	Upright Bass [Finger]	B0 - E5				
037	Electric Guitar [Stratocaster]	C2 - F#6	Bass	Mid	Treble	
038	Electric Guitar [Stratocaster / Palm Mute]	C2 - F#6	Bass	Mid	Treble	
039	Electric Guitar [Stratocaster / Compression]	C2 - F#6	Bass	Mid	Treble	Cmprs.
040	Electric Guitar [Stratocaster / Chorus]	C2 - F#6	Bass	Mid	Treble	Chorus
041	Electric Guitar [Stratocaster / Phaser]	C2 - F#6	Bass	Mid	Treble	Phaser
042	Electric Guitar [Stratocaster / Flanger]	C2 - F#6	Bass	Mid	Treble	Flanger
043	Electric Guitar [Stratocaster / Auto Wah]	C2 - F#6	Bass	Mid	Treble	
044	Electric Guitar [Stratocaster / Fuzz]	C2 - E6	Bass	Mid	Treble	
045	Electric Guitar [Telecaster]	C2 - E6	Bass	Mid	Treble	Delay
046	Electric Guitar [Telecaster / Tremolo]	C2 - E6	Bass	Mid	Treble	Tremolo
047	Electric Guitar [Gibson Jazz]	C2 - C#7	Bass	Mid	Treble	
048	Electric Guitar [PRS / Overdrive]	C2 - C7	Bass	Mid	Treble	Drive
049	Electric Guitar [Miami Sound]	C2 - C7	Bass	Mid	Treble	Chorus
050	Electric Guitar [Stadium Rock]	C2 - D6	Bass	Mid	Treble	Delay
051	Electric Guitar [Grunge]	C2 - D6	Bass	Mid	Treble	
052	Electric Guitar [Metal]	C2 - D6	Bass	Mid	Treble	
053	Electric Guitar [Nu-Metal]	C2 - D6	Bass	Mid	Treble	
054	Electric Guitar [Distortion / Chorus]	C2 - D6	Bass	Mid	Treble	Chorus
055	Electric Guitar [Distortion / Phaser]	C2 - D6	Bass	Mid	Treble	Phaser
056	Electric Guitar [Distortion / Flanger]	C2 - D6	Bass	Mid	Treble	Flanger
057	Electric Guitar [Distortion / Auto Wah]	C2 - D6	Bass	Mid	Treble	

No.	Patch	Range	CC20	CC21	CC22	CC24
058	Electric Guitar [Distortion / Tremolo]	C2 - D6	Bass	Mid	Treble	Delay
059	Acoustic Guitar [Steel String / Pick]	C2 - C7	Bass	Mid	Treble	
060	Acoustic Guitar [Steel String / Finger]	C2 - C7	Bass	Mid	Treble	
061	Acoustic Guitar [Steel String / Palm Mute]	C2 - C7	Bass	Mid	Treble	
062	Acoustic Guitar [Steel String / Chorus]	C2 - C7	Bass	Mid	Treble	Chorus
063	Acoustic Guitar [Steel String / Flanger]	C2 - C7	Bass	Mid	Treble	Flanger
064	Acoustic Guitar [Nylon String]	C2 - E6	Bass	Mid	Treble	
065	Electric Piano [FM]	C1 - A#8				
066	Electric Piano [FM / Chorus]	C1 - A#8				Chorus
067	Fender Rodes Mk2 [Tremolo]	E1 - E7	Spread			
068	Fender Rodes Mk2 [Chorus]	E1 - E7	Spread			Chorus
069	Fender Rodes Mk2 [Distortion]	E1 - E7	Spread	Sat.		
070	Fender Rodes Mk2 [Phaser]	E1 - E7	Spread			Phaser
071	Fender Rodes Mk2 [Autopan]	E1 - E7	Spread			
072	Wurlitzer A200	E1 - E7	Spread			
073	Wurlitzer A200 [Mellow]	E1 - E7	Spread			
074	Wurlitzer A200 [Chorus]	E1 - E7	Spread			Chorus
075	Wurlitzer A200 [Phaser]	E1 - E7	Spread			Phaser
076	Wurlitzer A200 [Distortion]	E1 - E7	Spread	Cutoff	Reso.	
077	Clavinet E7	E1 - E7	Cutoff	Reso.		
078	Clavinet E7 [Dynamic-Wah]	E1 - E7	Cutoff	Reso.		
079	Clavinet E7 [Funk]	E1 - E7	Cutoff	Reso.		
080	Clavinet E7 [Distortion]	E1 - E7	Cutoff	Reso.		
081	Piano	F#-1 - C9				
082	Piano [Bright Pop]	F#-1 - C9				
083	Hammond B3 Organ [Rock]	C2 - C7				
084	Hammond B3 Organ [Retro]	C2 - C7				
085	Hammond B3 Organ [Mellow]	C2 - C7				
086	Hammond B3 Organ [Simple]	C2 - C7				
087	Mellotron Brass	C0 - C8				
088	Mellotron Brass	C0 - C9				

No.	Patch	Range	CC20	CC21	CC22	CC24
089	Melloton Choir	C0 - C9				
090	Melloton Flute	C0 - C9				
091	Synth Bass	C0 - C5	Cutoff	Reso.		
092	Wah-Saw 1	C2 - D7	Cutoff	Reso.		
093	Swirl	C1 - D6	Cutoff	Reso.		Phaser
094	Analog Sweep	C1 - B6	Cutoff	Reso.		
095	8-bit Brass	C1 - G9	Cutoff	Reso.	Delay	Flanger
096	Android Sin	F#0 - G#7	Cutoff	Reso.		
097	Wah-Saw 2	C2 - C#7	Cutoff	Reso.		
098	Soft Pad	C1 - C#7	Cutoff	Reso.	Delay	Chorus
099	Naïve & French	F#0 - C8	Cutoff	Reso.	Dlay	Flanger
100	Hard Lead	F#0 - G#7	Cutoff	Reso.	Delay	
101	Synth Bass 2	C1 - C#7	Cutoff	Reso.		
102	Analog Bass	C1 - B6	Cutoff	Reso.		
103	Lead Synth	C1 - C8	Cutoff	Reso.		
104	Rezo-Saw	C0 - A#5	Cutoff	Reso.		
105	Pulse Lead	C1 - B6	Cutoff	Reso.	Delay	Phaser
106	Drop-Saw	C1 - B6	Cutoff	Reso.		
107	Tri-Oscillator	C-1 - G9	Cutoff	Reso.		
108	Vibraphone [C1]	D3 - C8				
109	Vibraphone [Motor On]	E1 - E7				
110	Trumpet	C2 - C8				
111	Trumpet [Harmon Mute]	C2 - C8				
112	Soprano Saxophone	F1 - C#8				
113	Alto Saxophone	C-1 - G#7				
114	Tenor Saxophone	C-1 - D#7				
115	Baritone Saxophone	C-1 - F#6				
116	Trombone	C-1 - B6				
117	Horn Section	E1 - D8				
118	Flute	G3 - E7				
119	Violin Section	G3 - C7				

No.	Patch	Range	CC20	CC21	CC22	CC24
120	Viola Section	C3 - C6				
121	Violoncello Section	C2 - G5				
122	Double Bass Section	E1 - G4				
123	String Section	E1 - C7				
124	String Section [Spiccato]	E1 - C7				
125	String Section [Pizzicato]	E1 - C7				
126	Acoustic Guitar [Nylon String]	C2 - G4				
127	Lead Voice [Male]	C-1 - B6				
128	Scat Voice [Female]	A1 - C5				